

# SSKA

## 全国パーキンソン病友の会会報

茨城県支部だより

第 4 8 号  
平成 1 1 年  
(1999 年)  
5 月 6 日

全国パーキンソン病友の会茨城県支部  
〒三五〇〇八 茨城県石岡市若松一七五  
TEL & FAX 〇二九九(二二)五五八〇  
郵便振替 〇〇三〇〇一四一三八〇四二

### 第14回定期支部総会

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

講師・**砥屋克子** 先生

演題 **ステキにケア・楽しくリハビリ**

「家族と二人三脚で快適な生活を送るために」

### 総会特集号

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| * 支部長挨拶                   | 二     |
| * メッセージ・祝電の紹介             | 三〇六   |
| * 第十四回定期支部総会の総括           | 七     |
| * 新役員紹介                   | 七     |
| * ステキにケア・楽しくリハビリのレジメ      | 八     |
| * 助成金・寄付金一覧               | 九     |
| * 総合的難病対策の早期確立を要望する請願書協力者 | 十     |
| * 新会員の紹介・計報               | 十一    |
| * 平成十一年度活動方針・JPC幹事会・国会請願  | 十二    |
| * 第二回アジア・太平洋パーキンソン病協会国際会議 | 十三    |
| * がんばれ難病患者日本一周激励マラソン      | 十四・十五 |
| * 事務局だより・編集後記             | 十六    |

目

次

一九七一年八月七日第三種郵便物許可(毎月六回一の日・六の日発行)  
一九九九年五月六日発行・SSKA通巻三二五九号

ご挨拶

茨城県支部長 清水 昇勝



皆さん、お早う御座います、只今ご紹介頂きました。清水で御座います。本日は、ここ県総合福祉会館に於いて、第14回定期支部総会を開催出来ました事を感謝申し上げます。

又、今日ここに参加の会員の皆様には、お身体の大変なところ県内各地よりお集まり下さいまして、お疲れさまで御座いました。

昨年5月、難病患者の医療費に患者負担が導入されました。今年、医療保険制度「抜本改革」と称して高齢者健保の創設や薬剤の参照価格制度の導入など、患者負担を増大させる制度改悪が次々と打ち出されています。不況による福祉施策の後退、介護保険の創設など様々な問題が明らかになってきました。我々難病患者にとっては希望の光さえ奪う苛酷な状況です。

このような中JPC（日本患者・家族団体協議会）が企画しました。「がんばれ難病患者・日本一周激励マラソン」が7月下旬から12月まで128日をかけ、全都道府県の県庁を訪ね知事に「難病・長期慢性疾患の医療費を無料に」などを陳情し、医療・福祉の拡充を訴えて回ります。皆様には、詳細は追ってご案内いたします。

又、10月4日～6日（7日ディズニーランドツアー）に千葉県舞浜のトーキョーベイホテルに於いて「第2回アジア・太平洋パーキンソン病協会国際シンポジウム」が行なわれます。この2つのイベントを今年の活動方針（案）として掲げました。どうかご審議の程、宜しくお願い致します。午後は筑波大学院の紙屋克子先生による「ステキにケア・楽しくリハビリ」と題して講演があります。皆様と一緒にご拝聴致したいと思います。この後、ご披露されます多数の、祝電・メッセージには身にあまる励ましと連帯のお言葉を頂いております。最後に今朝早くより、お手伝い頂いておりますボランティアの皆様心から感謝申し上げます、ご挨拶と致します。

## 茨城県支部第14回定期総会

### 祝電・メッセージの紹介

#### メッセージ

▼ 全国パーキンソン病友の会茨城県支部の皆様、貴支部第14回総会開催にあたって千葉県支部会員一同を代表して心からお祝いのご挨拶を送ります。

貴支部は私たちにとって、利根川の川すじひとつへだてただけの最も近いお隣の県として、又、1995年（平成7年）の第19回総会・茨城大会開催の責任をりっぱに果たされた先進的な支部として、尊敬する大切なお仲間です。

パーキンソン病を患っている者には、又その家族には、いちばん嬉しく、いちばん励みになることは、先輩患者の健闘ではないでしょうか。ああ、あの方も病苦を持ちながら、力いっぱい生きておいでになる、そう思いだけで自分自身も勇気が湧いてきます。言う換えれば、私たち自身が、病氣とたたかいながら、逞しく生きてゆく事が同僚患者の皆さんの大きな心の支えになるのだと思います。

支部と支部の関係にも同じ事がいえるでしょう、茨城県支部のご健闘は南どなりの私たちをどんなに励ましてくれるでしょう。

第19回全国総会・茨城大会の時は、千葉県から7名の参加者が皆様のお世話になりました。

今年は10月5日6日、千葉県浦安舞浜の

ホテルで、アジア太平洋パーキンソン病協会国際シンポジウムが開かれます。貴支部からご参加の方々と会場でお眼にかかる事を楽しみにしております。

貴支部第14回定期総会のご成功を祈ります。皆様どうぞお大事に。

1999, 4, 11

全国パーキンソン病友の会千葉県支部

支部長 西澤 舜一 様

#### メッセージ

▼ 平素から貴支部には多面にわたりご指導ご配慮いただき感謝しております。この度行われる定期総会の日、岡山も春の交流会を行う予定で、準備に追われている日々です。お互い患者会ですので呉々もお身体ご自愛なされまして、パーキンソン病のなくなる日を信じてかんばろうではありませんか。

総会行事が盛会に行われますことを祈るとともに貴会の発展と会員の皆様のご健勝を祈ってメッセージにかえさせていただきます。

全国パーキンソン病友の会岡山県支部

支部長 青山 峰子 様

メッセージ

▼ 第14回全国パーキンソン病友の会茨城県支部の定期総会の盛況を祝し、貴支部のさらなる発展を祈念します。

今後も手を取り合って福祉の向上に頑張らしましょう。

全国パーキンソン病友の会大分県支部  
支部長 上杉貞治郎 様

メッセージ

▼ 茨城県支部第14回定期支部総会のご成功を祝し、皆様のご健勝と会の益々の御発展を心からお祈り申し上げます。

全国パーキンソン病友の会広島県支部  
支部長 山脇 和子 様

メッセージ

▼ 今年、4月11日を総会の日と定められ、とり行なわれる事、例え住んでいる場所は違っても、同じ病気で苦しんでいる病友を思いやり後援することは当たり前な事と存じます。

総会がスムーズに行われ盛会裡に終了する様に鹿児島からもメールをお送りします。

全国パーキンソン病友の会鹿児島県支部  
支部長 満尾 泰蔵 様

メッセージ

▼ 全国パーキンソン病友の会茨城県支部第14回定期総会の開催を祝し心よりお喜び申し上げます。

関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表し、会員皆様のご多幸と総会のご成功を祈念いたします。

全国パーキンソン病友の会岐阜県支部  
支部長 足立 静枝 様

祝電

▼ 貴支部の第14回定期総会のご盛會を祝し、会員の皆様のご健勝に留意し、一日も長く生きる事をモットーにして頑張らしましょう。全国の仲間が結束して反動医療行政をただしていくために全体を強めて前進させましょう。

全国パーキンソン病友の会和歌山県支部  
支部長 惣坊 恵 様

メッセージ

▼ 茨城県支部第14回定期支部総会のご開催本当におめでとうございます。

私達を取り巻く状況はけしてよくありません。患者同志が組織を作りそれを大きなエネルギーに変えて、より住みよい環境を求めようではありませんか。貴支部の今後益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

全国パーキンソン病友の会兵庫県支部  
支部長 篤永 穰 様

メッセージ

▼ 定期総会のご盛會を心からお喜び申し上げます。貴支部の發展を祈念いたしますとともに、今後ともご指導のほどをお願い申し上げます。

全国パーキンソン病友の会徳島県支部

支部長 福井 公明 様

メッセージ

▼ 茨城県支部第14回定期支部総会の開催おめでとうございます。

私達は、「総合的難病対策の早期確立」を要望し「難病公費医療費負担の中止と医療保険制度抜本改悪反対」を願い、この運動をすすめています。どうか貴大会においても充分ご討議いただき有意義な一日となりますよう期待します。

貴支部の益々のご發展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

全国パーキンソン病友の会愛媛県支部

支部長 林 芳明 様

メッセージ

▼ 全国パーキンソン病友の会茨城県支部第14回定期総会を心からお祝い申し上げます。会員の皆様、一致団結して病気に打ち勝って療養をお続け下さい。難病患者に新しい息吹を吹き込む全国一周マラソン大会を成功させましょう。

貴支部の定期総会が盛會のうちら進められるよう連帯のメッセージを送ります。

今後の發展を祈念いたします。

全国パーキンソン病友の会宮崎県支部

支部長 原田 恒夫 様

メッセージ

▼ 茨城県支部第14回定期支部総会の開催を心よりお祝い申し上げます。歴史ある貴支部の、日ごろの活発な活動に対し深く敬意を表します。難病者に対する医療行政は益々厳しい情勢ではありますが、お互いに手を取り合い、励まし合って共に頑張っていきましょう。

貴支部の今後の發展と、会員・ご家族の皆様のご健勝を遥かお祈りいたします。

全国パーキンソン病友の会京都府支部

支部長 相馬 光枝 様

メッセージ

▼ 拝啓、定期総会のご案内を頂き有難う御座います。札幌でお会いして以来書面で再会でき、大変嬉しく思います。

さて、定期総会の開催には、用務多忙のため出席ができず誠に残念であります。そこで定期総会の開催を計画し、運営を任せられた役員の方々のご苦勞に敬意を表します。

難病であるこの病気の治療には内科的治療（薬物治療）には副作用があり、総合的には外科的治療が必要になってくるのです。

症状には個人差があり、この病気と仲良く  
友達としてつき合っただけで欲しいと思います。

貴支部のご発展を心からお祈りいたしま  
す。どうか宜しくお願ひ致します。頑張っ  
てやりましょう、これをもって、メッセー  
ジといたします。

全国パーキンソン病友の会北海道支部  
支部長 山根 義淵 様

### 祝電

▼ 全国パーキンソン病友の会茨城県支部  
第14回定期総会おめでとうございます。

昨年、厚生省は、特定疾患医療費の一部  
負担を私たちに押しつけてきました。

私たちパーキンソン病友の会は、難病患  
者団体の中核となって反対運動を担ってき  
ました。これからも力を合わせて患者負担  
を撤回させましょう。

私たち新潟支部はまだよちよち歩きです  
が先輩支部の活動を見習って、患者・家族  
が不安無く療養生活ができるよう努力をす  
るつもりです。茨城県支部が益々発展する  
よう願っています。

全国パーキンソン病友の会新潟県支部  
支部長 斎藤 博 様

### 電子郵便

紙面の都合で電文略させていただきます。

愛知県支部 会長 八野 健蔵 様  
群馬県支部 支部長 塩沢 福司 様

### 祝電

▼ 茨城県支部の皆さん、第14回定期総会  
医療講演会開催、誠におめでとうございま  
す。いつも格別のご協力を頂き、心よりあ  
りがたく感謝しております。不順な天候に  
も負けず、頑張っておられる姿をいつも思  
い浮かべております。少しでも楽しい療養  
生活を送られ、病気の真の原因を突き止め、  
一日も早く我々全員がパーキンソン病から  
開放される日まで、病気と戦っていきたく  
と思います。お互いに頑張りましょう。

全国パーキンソン病友の会埼玉県支部  
支部長 森田 治 様

### 祝電

▼ 総会のご盛会を祝し、あわせて貴会の  
ますますのご発展をお祈りいたします。大  
阪も頑張ります。今後共よろしくお願ひ  
いたします。

全国パーキンソン病友の会大阪府支部  
支部長 近藤 晶一 様

### 祝電

▼ 本日の大会を祝し、心よりお喜び申し  
上げます、関係各位の並々ならぬご尽力に  
敬意を表し、大会のご成功を祈念いたしま  
す。

全国パーキンソン病友の会長野県支部  
支部長 胡桃 弘芳 様

# 第14回定期支部総会の総括

小雨が降る、あいにく日に、水戸市の茨城県総合福祉会館で第14回定期支部総会が開催された。総会第二部の医療講演に、筑波大学大学院医科学研究科社会医科学系教授紙屋克子先生による「ステキにケア・楽しくリハビリ」（家族と二人三脚で快適な生活を送るために）と題して講演（スライドによる実践紹介と実技演習を交えて）を拝聴しました。尚、会場で新会員として3名が入会しました。

- 日時 平成11年4月11日（日）午前10時30分～午後4時
- 場所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館4階大研修室
- 参加者 会員38名 家族35名 一般参加者25名 ボランティア3名  
来賓1名 合計102名 委任状51名

この度の総会・医療講演を各マスコミが報道して下さいました。特に朝日新聞が写真いりの記事で報道して下さいました事と講演の先生が介護学で有名であったために、大勢の一般参加者が来場しました。

総会議長に寺門正次氏を選出し、第1号議案から第5号議案まで承認されました。第6号議案の役員選出で一部変わりました。西野源四郎氏・久保蘭努氏（昨年7月死去）が辞任しました。特に久保蘭氏は結成当時より役員を続けて頂きました。故人のご冥福を祈ります。新に、守谷町の益田功氏が役員に加わりました。

## 新役員紹介

支 部 長◆※	清 水 昇 勝（石岡市）	中央地区担当
副 支 部 長 ◆	植 本 泰 久（竜ヶ崎市）	県南地区担当
事 務 局 長◆◎	清 水 晴 美（石岡市）	中央地区担当
事 務 局 員◎※	綿 引 義 男（笠間市）	”
”	寺 門 京 子（那珂町）	県北地区担当
”	◎ 植 本 純 代（竜ヶ崎市）	県南地区担当
”	益 田 功（守谷町）	”
会 計 ◎	大 森 誠（水戸市）	中央地区担当
会 計 監 査◇◎	小佐畑 弘（那珂町）	県北地区担当
” ◇◎	寺 門 正 次（ ” ）	”
凡例 ◆本部役員	※県難練役員	◎健全者 ◇事務局員兼務

## 〔ブロック活動に伴う世話人〕

日立保健所管内患者・家族会 君島 政雄 益子 健次  
潮来 ” ” 関口 貞夫

## ステキにケア・楽しくリハビリ

—家族と二人三脚で快適な生活を送るために—

筑波大学大学院医科学医研究科社会医科学系教授 紙屋 克子 先生

### 【講演レジメ】

わが国の高齢化は、欧米福祉国家が100年から130年をかけて到達したのに比べ、わずか、20数年という短い期間で到達します。このため、行政から医療・介護や介護の実践現場にいたるまで、高齢社会に対する十分な準備期間もなく、有効なノウハウの蓄積や社会システムのに大変な遅れをとってしまいました。社会問題にまでなった「寝たきり老人」は医療の進歩を見すえた、ケア技術の開発の遅れによる結果と言えるでしょう。

高齢でも、病気や事故で障害が残っても住みなれた街で、我が家で暮らしたいということは誰もが望むところです。愛する家庭や親しい友人に囲まれ、安心して満足できる生活を送るためには日常生活の手助けをして下さる方が必要です。ところが、これまでの介護は、家族が少しずつ助け合いながら手探りでやっていることが多く、ハード肉体労働と精神的な負担で共倒れになるような、暗いイメージが先行していたように思います。

超高齢社会を不安なく迎えるためには、「寝たきり」になりやすい条件を持った人々の「寝たきり」を予防し、やがては自ら生活行動を獲得していけるように援助することが必要です。

家族の負担を軽減し、優しさや温かさの中で共に暮らせることを喜びとできるような介護方法が持たれています。

今回は「寝たきり」の予防からリハビリまで、在宅での家族と二人三脚で快適な生活を送るために生活支援技術の基本についてお話しします。

#### 1. 日本の高齢社会・現状と問題

- 1) 少子・核家族化と高齢社会
- 2) 備えなき憂い

#### 2. 生活援助の理論化・技術化

- 1) リハビリの考え方
- 2) 生活支援（ケア）の基本

#### 3. 市民とともに築く新しい時代

- 1) スライドによる実践紹介
- 2) 実技演習





## '99 総合的難病対策の早期確立を要望する請願書

署名・募金協力者（敬称略）

番号	月日	住所	氏名	番号	月日	住所	氏名
1	10. 7	取手市	四ッ谷 実	27	11. 17	竜ヶ崎	花 沢 勝 美
2	10. 8	総和町	新 井 音 市	28	"	友部町	長谷川 悦 子
3	"	那珂町	寺 門 京 子	29	"	水戸市	塩 原 幸 子
4	10. 12	水戸市	大 津 茂 雄	30	11. 23	日立市	益 子 健 次
5	"	"	木 村 富 美	31	"	古河市	阿 部 由 美 子
6	10. 14	日立市	大 高 巖 男	32	11. 24	水戸市	成 田 弘 市
7	"	"	加 藤 睦 子	33	11. 25	高萩市	會 澤 元
8	10. 15	大宮町	佐 藤 攻 司	34	11. 27	水戸市	大 橋 清 子
9	10. 16	大洗町	木 村 とみ江	35	11. 28	旭 村	安 達 明 雄
10	10. 19	ひたが姉	佃 国 夫	36	11. 30	笠間市	綿 引 玉 子
11	10. 21	岩間町	島 田 貴美子	37	12. 3	古河市	村 上 静 代
12	"	石下町	安 田 ま さ	38	12. 5	高萩市	松 田 千 年
13	10. 27	笠間市	桜 井 政 憲	39	"	水戸市	森 田 昭 代
14	10. 29	東 町	高 柳 せ き	40	12. 9	守谷町	益 田 功
15	"	荳崎町	木 村 安	41	12. 10	水戸市	宮 部 和 子
16	"	岩井市	川 田 節 子	42	12. 11	取手市	河 村 よしみ
17	10. 30	ひたが姉	照 山 良 男	43	12. 16	関城町	山 口 公 彦
18	10. 31	日立市	永 井 絹 子	44	12. 19	水戸市	坂 本 俊 雄
19	"	山方町	中 嶋 雅 子	45	12. 21	ひたが姉	山 村 不 二 乃
20	11. 4	東海村	荷 見 の ぶ	46	"	石岡市	清 水 昇 勝
21	11. 5	玉里村	田 辺 誠 一	47	"	"	清 水 晴 美
22	"	牛久市	池 田 弥 生	48	12. 29	友部町	友 部 し ま
23	11. 6	明野町	斉 藤 静 江	49	"	牛久市	色 川 き く
24	11. 8	水戸市	大 森 誠	50	12. 31	竜ヶ崎	杉 田 安 子
25	11. 9	藤代町	河 瀬 房 子	51	2. 13	那珂町	寺 門 正 次
26	11. 12	つくば	中 村 正 子	52	"	竜ヶ崎	植 本 純 代

◇ この署名簿は1999年5月31日にJPCの仲間と一緒に国会請願を致します。

署名総数780名 募金額 172,564円

### 【募金配分方法】

募金総額	必要経費	支部還元	取纏団体	JPC
100%	切代・雑費	50%	20%	30%
172,564	76,520	48,022	19,209	28,813

皆様のご協力誠にありがとうございました。  
支部長 清水 昇勝

## 平成11年度活動方針

1. マスコミ、県や市町村の広報、病院、各保健所を通じ未加入潜在患者の発掘につとめ、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
2. 地区別（ブロック）活動の推進をはかります。
3. 患者・家族交流会（一泊旅行）を行います。
4. 必要に応じて患者宅を訪問致します。
5. 県難連、他難病団体、パーキンソン病友の会他支部との連帯を深めていきます。
6. 支部会報（支部だより）を発行します。
7. 第2回アジア・太平洋パーキンソン病協会国際シンポジウムを成功させるための取り組みをします。
8. JPCの「21世紀をめざして・がんばれ難病患者日本一周激励マラソン」を積極的に支援します。

### 日本患者・家族団体協議会（JPC）

#### 第20回幹事会

■ 日時 1999年4月17日～4月18日

■ 場所 宮城県東京ビル

■ 議事

\*代表幹事挨拶

\*報告事項

\*協議事項

・「がんばれ難病患者・日本一周激励マラソン」について。

・医療保険制度改悪に反対する国会請願行動について。

・第14回総会の開催について

・総会提出議案について

・介護保険と難病対策について・その他

難病公費医療の患者負担を廃止し、患者を病院から遠ざける医療保険制度改悪に反対する

#### JPC国会請願集会

■ 日時 1999年4月19日

\*集会 午前10時～11時

\*陳情 午前11時～午後3時

■ 会場 衆議院第2議員会館第1会議室

■ 参加者 全国から69名（茨城2名）

■ 署名数 60万人分（茨城1万8千人）

■ 紹介議員数

\*衆議院議員 104名の議員

\*参議院議員 46名の議員

茨城県選出 久野恒夫一・小林 元 議員

◇茨難連JPC幹事 清水 昇勝 参加

◇" オブザーバー 清水 晴美 "

第2回アジア太平洋パーキンソン病協会国際シンポジウム

日時 平成11年10月5日～6日  
 場所 シェラトングランデ鯨ベイホテル  
 浦安市舞浜1-9 電話047-355-5555

目的

アジア太平洋地域のパーキンソン病に悩む方々、並びにその治療・看護・介護・援助に当たっておられる方々への、パーキンソン病に関する最新情報の提供と、国際交流・学術交流を目的としています。そしてこれがアジア太平洋地域のパーキンソン病に悩む方々の療養や生活の向上の一助となることをめざしています。

事務局 東京都文京区本郷2-1-1  
 順天堂大学脳神経内科  
 水野美邦 大場志津子  
 電話 03-3813-3111

○シンポジウム1

パーキンソン病の症候と診断

- \*パーキンソン病の臨床症候と診断
- \*パーキンソン病の画像診断(MRI, SPECT)
- \*パーキンソン病の画像診断(PET)
- \*進行性核上性麻痺及び二次パーキンソンニズム
- \*グラム島のパーキンソンニズム

○シンポジウム2

パーキンソン病の治療

- \*パーキンソン病薬物治療の方針
- \*パーキンソン病長期治療に伴う問題点
- \*症状の日内変動に対する対策
- \*パーキンソン病の外科療法

\*パーキンソン病に対する理学・作業療法

○シンポジウム3

- \*パーキンソン病の原因
- \*中国におけるパーキンソン病の疫学
- \*パーキンソン病遺伝的要因
- \*環境因子とパーキンソン病
- \*若年発症のパーキンソン病

○シンポジウム4

- \*韓国における抗パーキンソン病薬の臨床評価
- \*パーキンソン病治療に於ける阻害薬・阻害薬の役割
- \*神経細胞保護療法の現在と未来
- \*遺伝子治療の将来

○シンポジウム5

- \*中国におけるパーキンソン病治療の現状
- \*インドネシア
- \*パキスタン
- \*フィリピン
- \*スリランカ
- \*ベトナム

○シンポジウム6

- パーキンソン病患者サービスの向上をめざして
- \*ニュージーランドに於ける患者サポートネットワーク
- \*韓国に於けるパーキンソン病患者への治療と医療制度
- \*台湾に於ける重症パーキンソン病患者のケアシステム
- \*日本パーキンソン病友の会の教育活動

以上が6つのシンポジウムの内容です。

21世紀をめざして

## がんばれ難病患者日本一周マラソン!!

みんなの要求をもつて各県知事を訪ねよう。

日本中の応援で厚生省を包囲しよう。

\*ただちに難病医療費の患者負担をなくせ!!

\*健康保険の抜本改悪反対!!

\*総合的な難病対策の早期確立を!!

\*難病患者・障害者・高齢者が安心して暮らせる社会をめざそう!!

\*すべての難病患者に勇気と元気を!!

\*一步一步熱い思いをこめて!!



●期間 1999年7月～11月

●主催 日本患者・家族団体協議会 (JPC)

●共催 茨城県第10ステージ実行委員会/全国パーキンソン病友の会

●ランナー 澤本 和雄さん (北海道在住) 52歳のデザイナー

◆北海道稚内を7月25日出発してから37日目の8月30日茨城県庁に到着の予定です。125日目の11月26日東京都庁・厚生省に到着の予定です。

● 茨城県難病団体協議会として7月30日午後4時頃に、マラソンランナーが茨城県庁に到着する日に集会を予定しております。又、栃木県より本県に入り千葉県に行くまでの行程に伴走者を募ります。

# がんばれ難病患者 日本一周激励マラソン

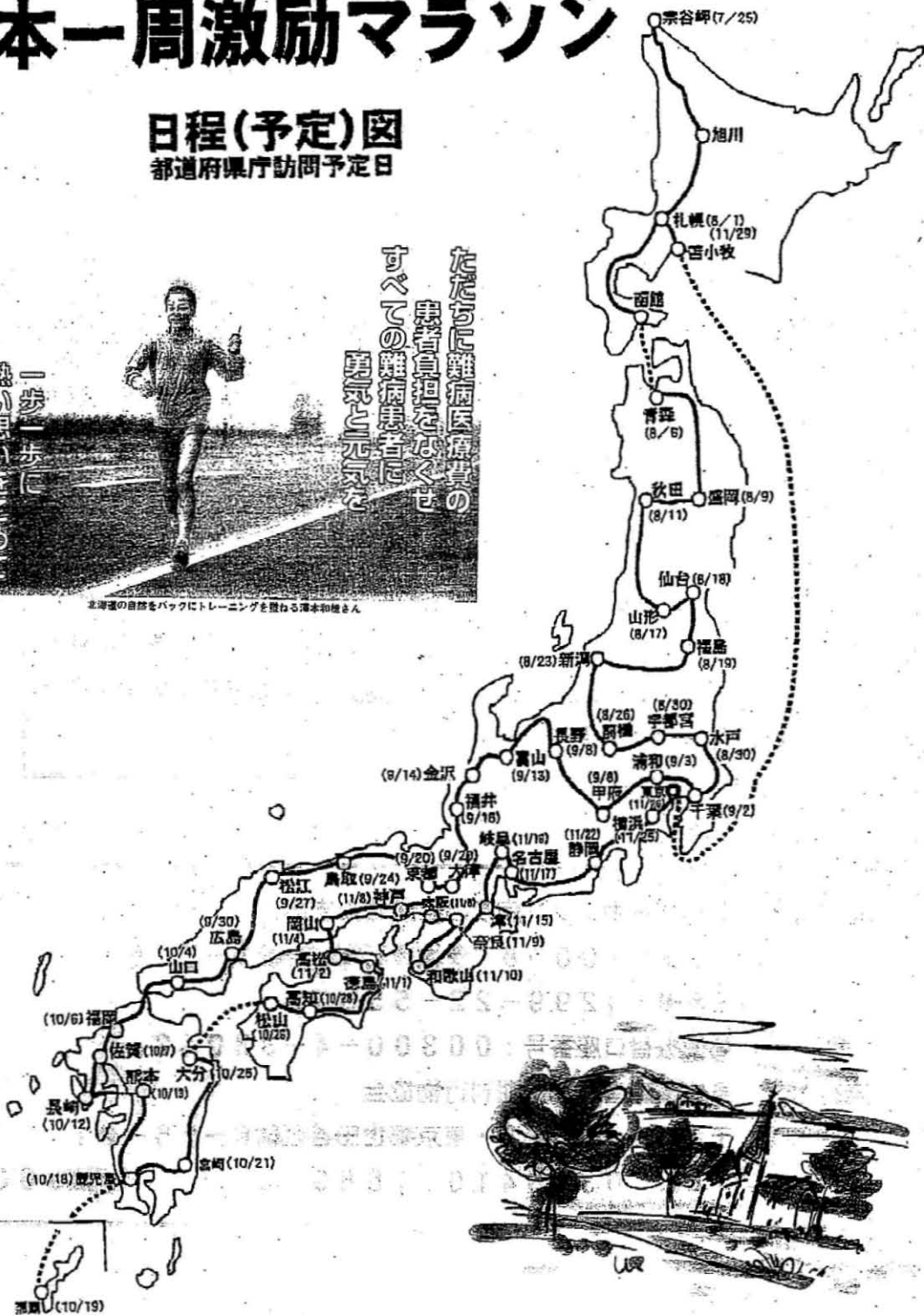
日程(予定)図  
都道府県庁訪問予定日

一歩一歩に  
熱い思いをこめて



北海道の自然をバックにトレーニングを続ける清水和雄さん

ただちに難病医療費の  
患者負担をなくせ  
すべての難病患者に  
勇気と元気を



【事務局だより】

- ◇ 21世紀をめざして、がんばれ難病患者日本一周激励マラソンが8月30日に茨城県庁に到着します。県庁で集会を予定しております。
- ◇ 第2回アジア・太平洋パーキンソン病協会国際シンポジウムが10月5日（火）～6日（水）浦安市舞浜のホテルで行います。
- ◇ 支部会報の原稿を募集して居ります。
- ◇ 年会費の未納の方、納入を宜しくお願い申し上げます。

編集後記

これからますます地方分権が進むなか、大事な統一地方選挙が終わり、街は平常にもどり。いよいよ来年4月より介護保険制度が始まります。介護認定などが平等に行われるよう望みたいものです。 S

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒315-0018 茨城県石岡市若松1-7-5

TEL&FAX; 0299-22-5580

郵便振替口座番号; 00300-4-38042

発行者 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073・東京都世田谷区砧6-26-21

TEL; 03-3416-1689

頒価300円